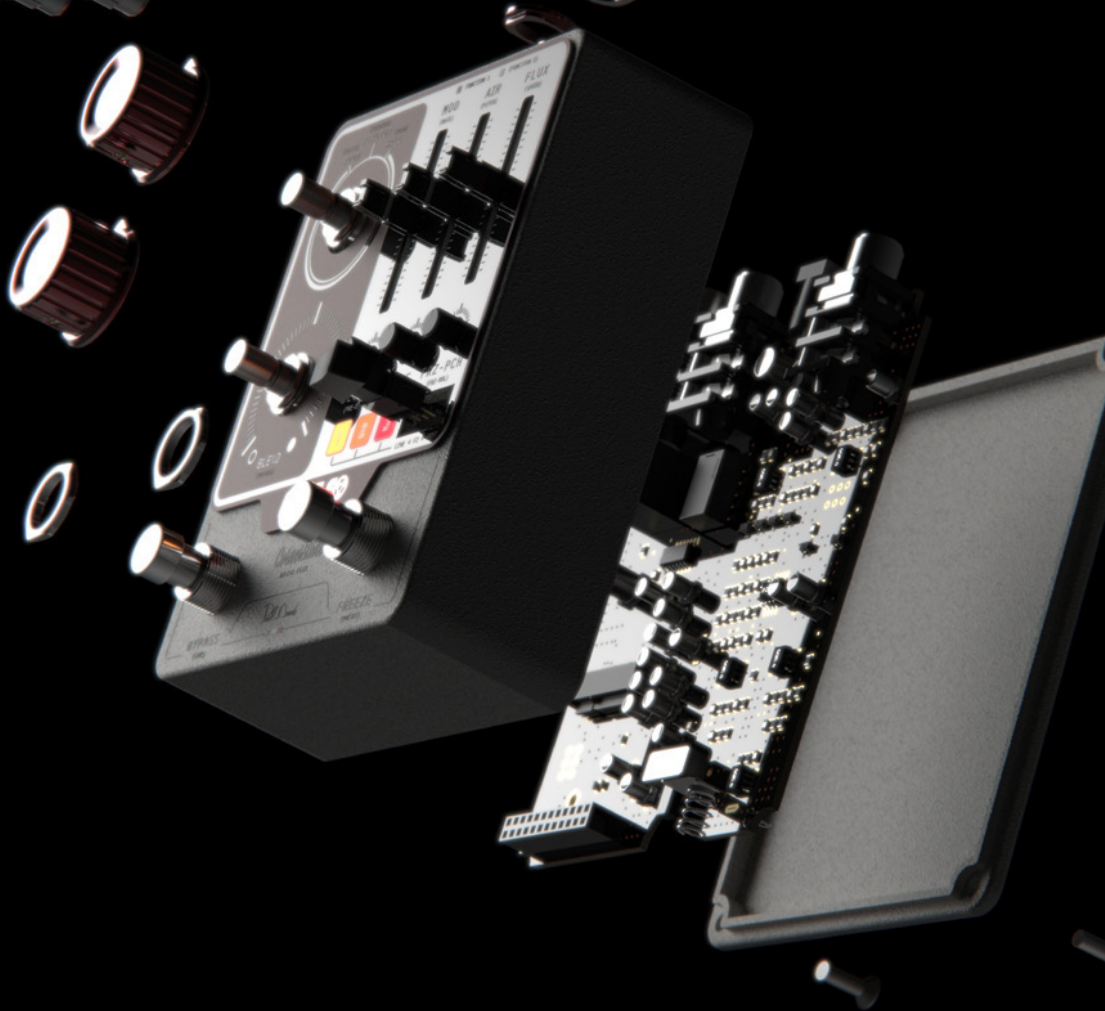




Cornerstone®
MUSIC GEAR

NUCLEO
REVERB

CONFIGURATION MODE MIDI, USB AUDIO INTERFACE

マニュアル

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら
<https://quanta-intl.jp/support/>



CONFIGURATION MODE

Nucleoには、バイパス・タイプ、MIDIチャンネル、ドライ・モードなど、ユーザーが設定可能なグローバル・パラメーターが多数あります。これらのパラメーターは、コンフィギュレーション・モードで変更します。
コンフィギュレーション・モードは、Nucleoの操作モードの中で唯一、見えないようになっています。
Nucleoを可能な限りユーザーフレンドリーに保ち、この種の「メニュー・ダイビング」を最小限に抑えるため、コンフィギュレーション・モードの機能は「セット・アンド・フォーゲット」機能に分類されます。

ACCESSING CONFIGURATION MODE

- Step 1:** 動作モードロッカースイッチを中央の位置 (F2) に設定します。
- Step 2:** 動作モードロッカースイッチを中央の位置 (F2) に設定しBypassフットスイッチを長押しします。
Bypass LEDが高速点滅し、ペダルがコンフィギュレーション・モードになっていることを示します。
- Step 3:** 対応するペダル・コントロールで希望のパラメーターを切り替えます。プリセット2のLEDが3秒間点灯、または消灯し、切り替えのステータスを示します。

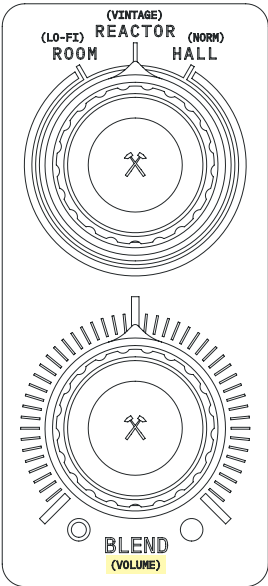
パラメータをオフの位置に設定したい場合は、まず「オン」の位置に移動し (プリセット2のLEDが点灯します)、次に「オフ」の位置に移動して、前の値が上書きされることを確認することをお勧めします。

すべてのコンフィギュレーション・パラメーターは、変更されると自動的に保存されます。

Exiting Configuration Mode:

準備ができたなら、Bypassフットスイッチを押して終了します。

CONFIGURATION MODE CONTROL FUNCTIONS:



Mode Selector:

コンフィギュレーション・モード機能なし。

Blend Knob:

ペダルの出力音量を調節します。

VOLUME ON BYPASS:

Nucleoをバッファード・バイパス・モードで動作させている場合、いくつかのユニークな機能を使って出力ボリュームの動作をコントロールすることができます。

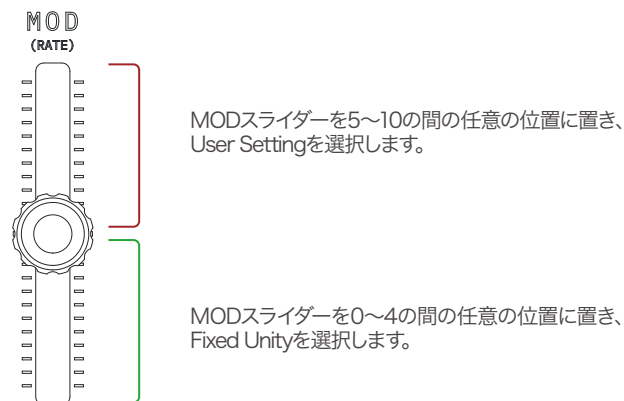
Fixed Unity (default):

ペダルがオフのときは出力ボリュームが自動的にユニティーゲインに設定され、ペダルがオンのときは選択された出力ボリュームに設定されます。

User Setting:

ペダルがオンでもオフでも、出力音量は変わりません。

トゥルー・バイパス・モードでは、この設定は何の影響も及ぼしません。

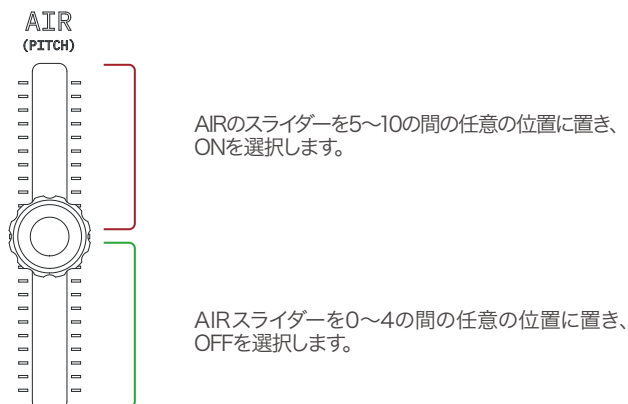


BYPASS ON CHANGE:

このパラメーターは、プリセットを呼び出すための MIDI プログラム切り替えメッセージを受信したときのバイパスの動作を設定します。

Off: ペダルは、プログラム切り替えメッセージを受信する前と同じバイパス状態のままです。

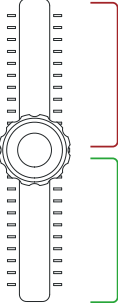
On: プリセットが呼び出されると、ペダルは自動的にオンになります。この設定により、ペダルを素早くロードしてアクティブにすることができ、MIDI コントローラーのセットアップが簡素化されます。



BYPASS TYPE:

このパラメーターは、ペダルのバイパス・タイプをトゥルー・バイパスとバッファード・バイパス（デフォルト）の間に設定します。True Bypassは、ペダルのルーティング・オプションがMono Input - Mono Outputの場合のみ有効です。他のルーティング・オプションを選択した場合、この設定はBuffered Bypassに上書きされます。

FLUX
(SPEED)



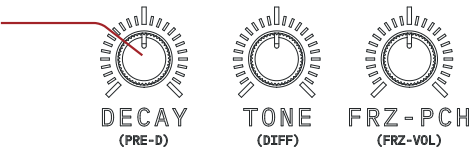
FLUXスライダーを5～10の間の任意の位置に置き、
バッファード・バイパスを選択します。

FLUXスライダーを0～4の間の任意の位置に置き、
トゥルー・バイパスを選択します。

MIDI CHANNEL:

このパラメーターは、NucleoがどのMIDIチャンネルでMIDIメッセージを受信するかを選択します。MIDIコントローラーから送信されるMIDIメッセージが同じチャンネルに設定されていることを確認してください。

このノブを回すとMIDIチャンネルが選択されます。



DECAYノブを回すと、プリセットのLEDが点灯、消灯、点滅し、以下の表に従って選択された数値を表示します：

MIDI Channel #	Preset LED 1	Preset LED 2	Preset LED 3
1	OFF	OFF	OFF
2	OFF	OFF	ON
3	OFF	ON	OFF
4	OFF	ON	ON
5	ON	OFF	OFF
6	ON	OFF	ON
7	ON	ON	OFF
8	ON	ON	ON
9	OFF	OFF	BLINK
10	OFF	BLINK	OFF
11	OFF	BLINK	BLINK
12	BLINK	OFF	OFF
13	BLINK	OFF	BLINK
14	BLINK	BLINK	OFF
15	BLINK	BLINK	BLINK
16	BLINK	OFF	ON

DRY MODE

Nucleoには3つのモードがあります：

Analog Dry:

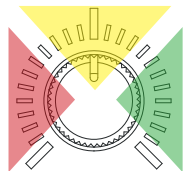
ドライ信号はペダルのON/OFFに関わらず完全にアナログです。ドライ信号のボリュームは固定で、ブレンド・コントロールはウェット・ボリューム信号に影響します。

Digital Dry:

ペダルのON/OFFに関わらず、ドライ信号はデジタルになります。Blendコントロールは、100%ドライ信号 (Blendが低いとき) と100%ウェット信号 (Blendが高いとき) の間をスワイプします。

Hybrid Dry:

ペダルのスイッチをオフにすると信号が完全にアナログになる以外は、Digital Dryとまったく同じ動作をします。



TONE
(DIFF)

Analog Dry:

ノブを0〜3 (レッドゾーン) の間で回します。

Digital Dry:

ノブを4〜6 (イエローゾーン) の間で回します。

Hybrid Dry:

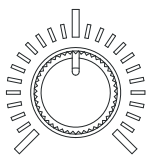
ノブを7〜10 (グリーンゾーン) の間で回します。

FREEZE PITCH RESET:

フリーズ信号に関連するピッチシフターの動作を設定します。

Off: フリーズ・ピッチは常にコントロールの位置に対応します。

On: フリーズ機能を作動または再作動するたびに、フリーズ・ピッチはユニゾンにリセットされます。



FRZ - PCH
(FRZ-VOL)

フリーズピッチノブを0〜4の間で回すと、この機能はオフになります。
フリーズ・ピッチ・ノブを5〜10の間で回すと、この機能がオンになります。

フリーズした信号の特定のハーモナイゼーション・ピッチをあらかじめ選択したい場合は、このパラメーターをオフにしておくことをお勧めします。

FACTORY RESET:

コンフィギュレーション・モード中にフリーズ・フットスイッチを押し続けると、ファクトリー・リセットが実行されます。



すべてのプリセットとグローバル設定値がデフォルトに戻され、ペダルがリセットされます。すべてのLEDがアニメーションし、ファクトリーリセットが実行されていることを示します。ファクトリーリセットが実行されている間は、電源を切らないでください。

注：ファクトリー・リセットを行うと、ペダルは自動的にコンフィギュレーション・モードから離れ、ライブ・モードに入ります。

EXITING CONFIGURATION MODE:

準備ができたなら、Bypassフットスイッチを押して終了します。



MIDI

NucleoはMIDIまたはUSB MIDI経由で設定およびコントロールできます。

コントロール切替、エフェクト・パラメーター変更、プログラム切替、プリセットの呼び出しに使用されます。Nucleoが受信したMIDIメッセージに確実に反応するには、使用するMIDIコントローラーと同じMIDIチャンネルをNucleoで選択してください。

セカンダリー・ファンクションは、オペレーション・モード・ロッカー・スイッチをF2ポジションに設定しなくても、MIDI経由で変更できます。MIDIプログラム・チェンジ・メッセージは、Operation Modeロッカー・スイッチがPRSTポジションにある場合にのみ、プリセットの呼び出しに適用されます。

MIDI CONNECTIONS:

Nucleoのバックパネルには、MIDI InとMIDI Out用に2つの3.5mm TRSジャックがあり、MIDI Type-Aケーブル規格に従って配線されています。TRSケーブルまたはTRS-DIN5 (MIDIケーブル) ケーブル・アダプターがType-A規格に対応していることを確認してください。

MIDI IN端子を使用して、MIDIコントローラーからNucleoに接続します。

MIDI OUTジャックを使用して、MIDIコントロール可能なエフェクトのチェーンを続け、次のMIDI入力ジャックに進みます。

USB MIDI

ハードウェアMIDIの代替として、NucleoはUSB経由でMIDIメッセージを送受信できます。バックパネルのUSB Type-Cコネクタは、コンピューターまたはホスト・デバイスとの接続に使用します。

これにより、専用のMIDIソフトウェアやDAWを使用して、演奏中にNucleoのパラメーターをコントロールしたり、オートメーションしたりすることができます。MIDIハードウェアとソフトウェアの両方で、Nucleoと同じMIDIチャンネルを使用していることと、対応する設定パネルで出力ポートが「Nucleo」オプションに選択されていることを確認してください。

注：使用するUSB Type-Cケーブルがデータケーブルであることを確認してください。多くのケーブルは電力供給のみで通信はできません。NucleoはUSBポートから電力を供給しないため、常に適切な電源に接続しておく必要があります。

NUCLEO MIDI MAP

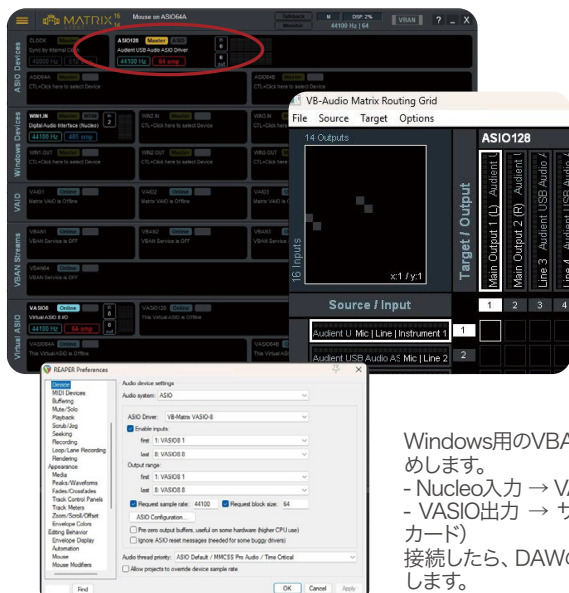
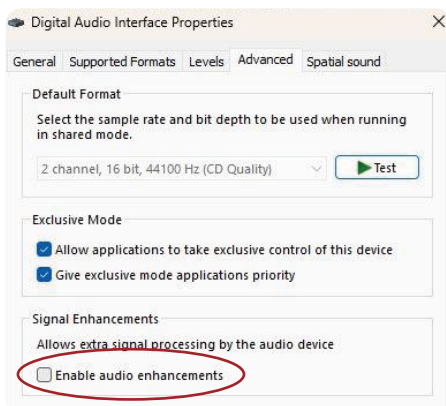
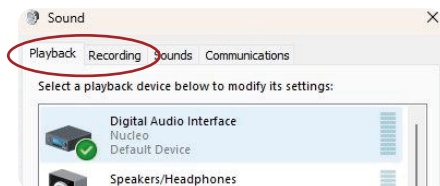
PARAMETER	CC#	RANGE	NOTES	DESCRIPTION
BYPASS				
Bypass	0	0-127	0-63: Effect off. 64-127 Effect On	Turns effect on/off
Bypass Type	1	0-127	0-63: True Bypass. 64-127: Buffered Bypass	Selects the type of bypass
Bypass on Change	2	0-127	0-63: Off. 65-127: On	Selects if the pedal will turn off/on when a preset recall is received
MIDI GENERAL				
MIDI Channel	5	1-16		Selects the MIDI Channel between 1-16
SWITCHES				
Bypass Switch	7	0-127	0: Switch released. 1-63: Switch Pressed. 64-127: Switch Held	Manages the Bypass Switch
Freeze Switch	8	0-127	0: Switch released. 1-63: Switch Pressed. 64-127: Switch Held	Manages the Freeze Switch
Mode Switch	9	0-2	0: Room. 1: Hall. 2: Reactor	Manages the Reverb Mode Switch
KNOBS				
Blend Knob	11	0-127		Blend parameter of reverb
Mod Knob	12	0-127		Modulation parameter of reverb
Air Knob	13	0-127		Air parameter of reverb
Flux Knob	14	0-127		Flux parameter of reverb
Decay Knob	15	0-127		Decay parameter of reverb
Tone Knob	16	0-127		Master Tone parameter of reverb
Frz Pch Knob	17	0-127		Freeze Pitch parameter of reverb
INTERNAL PARAMETERS				
Rate	18	0-127	Ranges from 0.5 Hz to 20Hz	Speed of modulation
Pitch	19	0-127		Blends between -1 octave and +1 octave in Air Knob
Speed	20	0-127		Speed of Granular
Pre Delay	21	0-127		Pre Delay parameter of reverb (max 290mS)
Diffusion	22	0-127		Reverb's diffusion parameter
Freeze Level	23	0-127		Volume of frozen signal
Output Volume	24	0-127		Overall Output Volume
Character	25	0-2	0: Lo-Fi, 1: Vintage, 2: Normal	リバーブのキャラクター間の切り替え
Speed BPM	26	0-127	0 - 256BPM	BPMでシンクされたグラニューラー・スピードを設定します。 送信される値は、希望するBPMの半分の値です。
Freeze Pitch Reset	27	0-127	0-63: Off. 65-127: On	フリーズ信号に関連するピッチシフターの動作を設定します。オフにするとFRZ PCHコントロールに従ってピッチが設定され、オンにするとユニゾンにリセットされます。
Dry Mode	3	0-127	0 Analog Dry, 1: Hybrid Dry, 2: Digital Dry	ドライ信号のタイプ、アナログ・ドライ、ハイブリッド・ドライ、デジタル・ドライを設定します。
Volume On Bypass	4	0-127	0-63: Fixed Unity. 65-127: User setting	Buffered BypassタイプでペダルがバイパスされたときのOutput Volumeの動作を設定します。Fixed Unityは、ペダルオフ時にユニティーゲインを強制します。ユーザー設定はVolume/パラメーターと同じになります。

USB AUDIO INTERFACE

Nucleoは、USB Type-C経由でインストールメント信号を直接レコーディングするステレオ・オーディオ・インターフェースとして使用でき、またステレオ・ハードウェア・プラグインとしても使用できます：

MAC: Nucleoは自動的に認識されます。

WINDOWS: 再生と録音の両方でWindowsのオーディオ拡張機能をオフにします。



Windows用のVBAudioMatrix仮想asioドライバの使用をお勧めします。

- Nucleo入力 → VASIO入力

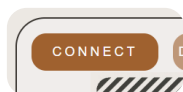
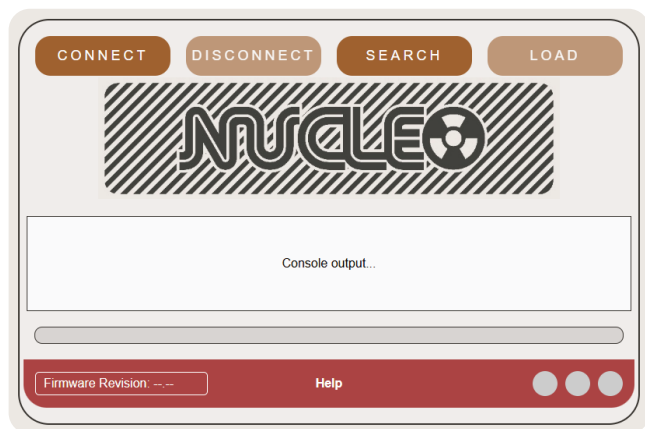
- VASIO出力 → サウンドカード出力 (例ではAudientサウンドカード)

接続したら、DAWのオーディオドライバーとしてVASIOを設定します。

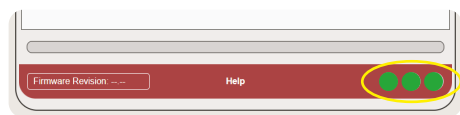
FIRMWARE UPDATING:

Nucleoのファームウェアは、当社ウェブサイトのNucleo製品ページにあるNucleoアップローダーアプリを使ってUSB経由でアップデートできます。

- Step 1:** ペダルを9V電源で駆動し、USBをコンピューターに接続します。
- Step 2:** Nucleo製品ページから最新のファームウェアファイルをダウンロードしてください。
- Step 3:** ファームウェアアップデータウェブアプリに入ります。(Chromeからのみ利用可能)

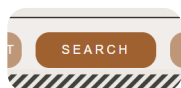


アプリの接続ボタンをクリックし、Nucleoの接続を許可し、デバイスリストからNucleoを選択します。



アプリがペダルに接続し、現在のファームウェアリビジョンが表示されます。右下の3つのドットが緑色に点灯し、ペダルが正常に接続されていることを示します。

検索ボタンをクリックし、以前ダウンロードしたファイルを見つけます。



最新のファイルを入手したら、ロードボタンを押してください。アップデートが開始されます。ファームウェアのアップデートを確認したい場合は、ペダルをアップデータアプリに再接続し、ファームウェアのリビジョン番号を確認してください。